

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 アビックス株式会社  
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 熊崎 友久  
 (氏名) 桐原 威憲

TEL 045-670-7720

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,032	18.0	22	452.7	20	352.8	3	0.8
24年3月期第3四半期	875	31.6	4		4		3	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	16.82	15.62
24年3月期第3四半期	16.96	14.88

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,244	452	36.3
24年3月期	1,412	448	31.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 452百万円 24年3月期 448百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		0.00		0.00	0.00
25年3月期		0.00			
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,330	8.7	56	36.6	52	26.8	51	27.5	220.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	231,028 株	24年3月期	231,028 株
25年3月期3Q		24年3月期	
25年3月期3Q	231,028 株	24年3月期3Q	231,028 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興関連需要などから国内需要は堅調に推移し、緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力の安定供給への懸念など景気の先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当社はマーケットが拡大しているプロモーションメディアであるデジタルサイネージに的を絞り、情報機器事業では、文字情報を放映することに最適なLED表示機の拡販、運営事業では、安定的な収益基盤となる映像コンテンツの制作・配信やメンテナンス、アセット事業では、ixboardやサイバービジョンなどのレンタルの展開を図ってまいりました。

情報機器事業につきましては、上記のような厳しい経済環境ではありますが、販売促進に関わる設備投資については回復の兆しが見え、文字情報の放映に最適であり、大型ネオンと比較すると電気量が10分の1程度となる節電・省エネ効果の高い当社の特許製品「ポールビジョン」の販売が好調に推移いたしました。また、映像看板を導入されている既存顧客に対しては、筐体やシステムはそのまま、LEDの表示部分のみを交換する「サイバービジョン」の張替え需要が高まり、業績は前年同四半期と比較して増収増益となりました。

運営事業につきましては、映像コンテンツ収入やメンテナンス収入等の安定的な収益について、震災および原発事故の影響が大きかった前年同四半期と比較すると、業績は回復しており、今後も安定的な収益が見込まれております。また、店舗内のデジタルサイネージ向けに、映像コンテンツを簡単かつ迅速に作成できるシステム「TemPo(テンポ)」もサービス提供を開始しております。その他にも積極的に新規事業の開発を行っており、今後の業績に寄与するものと考えております。

アセット事業のレンタルにつきましては、既存顧客からの継続的な受注がありました。ix-boardにつきましては、省電力でありながら、最新のニュースがリアルタイムに放映できるなど、文字情報を放映することに適していることから、文字による販促「文字列マーケティング」を実践する機器として需要が拡大し、設置件数が増加しました。

なお、平成24年5月に判明した過年度の不適切な会計処理に関連した調査費用等として、特別損失に16,363千円を計上しております。

以上の結果、売上高1,032,887千円(前年同四半期比157,681千円増)となり、営業利益22,987千円(前年同四半期比18,827千円増)、経常利益20,961千円(前年同四半期比16,332千円増)、四半期純利益は3,886千円(前年同四半期比30千円減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末比92,879千円減の1,056,266千円となりました。その主な要因は、売上債権の回収により売掛金が減少し現金及び預金が増加したものの、仕入債務と社債の償還により現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末比75,251千円減の187,870千円となりました。その主な要因は、減価償却とレンタル資産から商品及び製品への振替えによるものです。

(負債)

負債合計は、前事業年度末比172,016千円減の792,035千円となりました。その主な要因は、事業に必要な運転資金を手厚くするために行った借入金の増加があったものの、仕入債務の支払いによる支払手

形及び買掛金の減少と社債の償還を行ったことによるものです。なお、第3回無担保転換社債型新株予約権付社債350,000千円は、平成24年11月30日に償還期限が到来したことにより新株予約権が消滅し、社債につきましては、社債権者である株式会社JBFパートナーズとの合意により償還期限を平成25年11月30日まで延長しております。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末比3,886千円増の452,102千円となりました。その要因は、四半期純利益の計上によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社の情報機器事業は、大型案件の納期が年度末に集中することから、売上高が第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響は軽微であります。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

安定収益事業の拡大を図り、経費削減によるローコスト体質の継続に努め、営業利益、経常利益及び四半期純利益を計上しましたが、当社を取り巻く事業環境は、電力不足に伴う節電による影響が懸念されるなど不安定な状況であることから、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、この状況を解消するために、経費の削減、業務の効率化、安定収益事業への変革のため策定したアビックス三ヵ年計画を押し進めており、こちらは、計画通りに進捗しております。今後も月次での安定収益を拡大していくことで、当初の目的である「大口受注が無くても安定的に黒字化を実現するアビックス」を引き続き達成することができると考えているため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	421,457	387,546
受取手形及び売掛金	312,844	286,198
商品及び製品	290,327	278,783
仕掛品	391	851
原材料及び貯蔵品	94,673	90,815
その他	29,742	12,170
貸倒引当金	292	99
流動資産合計	1,149,145	1,056,266
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物附属設備(純額)	668	584
車両運搬具(純額)	646	444
工具、器具及び備品(純額)	75,969	65,112
レンタル資産(純額)	106,734	43,430
リース資産(純額)	26,248	26,240
有形固定資産合計	210,267	135,813
<b>無形固定資産</b>		
<b>投資その他の資産</b>		
その他	44,566	42,894
貸倒引当金	1,058	1,871
投資その他の資産合計	43,508	41,022
固定資産合計	263,121	187,870
資産合計	1,412,267	1,244,137
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	184,668	147,244
1年内返済予定の長期借入金	10,920	70,656
1年内償還予定の社債	300,000	350,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	350,000	-
未払法人税等	3,737	1,061
製品保証引当金	769	2,671
賞与引当金	4,726	-
その他	55,137	50,048
流動負債合計	909,959	621,682
<b>固定負債</b>		
長期借入金	36,350	148,424
その他	17,742	21,929
固定負債合計	54,092	170,353
負債合計	964,052	792,035
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	921,376	921,376
資本剰余金	517,286	517,286
利益剰余金	990,447	986,560
株主資本合計	448,215	452,102
純資産合計	448,215	452,102
負債純資産合計	1,412,267	1,244,137

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	875,206	1,032,887
売上原価	472,412	608,481
売上総利益	402,793	424,405
販売費及び一般管理費	398,633	401,418
営業利益	4,159	22,987
営業外収益		
受取利息	28	42
受取賃貸料	213	459
受取手数料	1,342	669
その他	448	118
営業外収益合計	2,031	1,289
営業外費用		
支払利息	872	1,315
社債利息	254	1,791
リース解約損	435	-
その他	-	208
営業外費用合計	1,561	3,314
経常利益	4,629	20,961
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	-	16,363
特別損失合計	-	16,363
税引前四半期純利益	4,629	4,598
法人税、住民税及び事業税	712	712
法人税等合計	712	712
四半期純利益	3,917	3,886



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

当社は電子広告看板の製造、販売、運営及びアフターサービスを主な事業とする単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期会計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期会計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。